



バロボー・シティ

あひる
なんぢら



足棒にも家がある。

2016.03.25 fri --- 03.28 mon

下北沢 駅前劇場

03.25 (金) 19:30

03.26 (土) 15:00 19:00

03.27 (日) 14:00 18:00

03.28 (月) 15:00 19:30

脚本・演出
—— 岡村俊介

THE CITY OF THIEVES

出演

—— 藤本美帆 坂津茂尚 野村梨々子

置田裕樹 (はらぺこペンギン) 田代尚子 伊達香苗 (MCR) 稲崎晴 松本美路子 宮本奈津美 (はらぺこペンギン) 山田百次 (劇団81/青年団シンク ホエイ)

登場人物

ミヨ

ツキホ

イツエ

フジコ

リス

白井(シライ)

発田(ホツタ)

中山(ナカヤマ)

龍(ドラゴン)

虎
(タイガー)

部屋のリビング。テーブルがある。深夜。

ミヨ、ツキホ、イツエ、フジコ、が、座っている。

ミヨは眠そう。フジコは寝ている。

ミヨ あー、眠い。

ツキホ 催眠術にかかったの？

ミヨ は？

ツキホ 催眠術にかかったの？

ミヨ かかってない。

ツキホ なんでわかるの？

ミヨ 誰もかけようとしてなかったでしょ、催眠術。

ツキホ そうだけど。

ミヨ 誰もかけてないのに、催眠術にかかったりはしないよね。

ツキホ そうかなあ。

ミヨ そうでしょ。じゃあ逆に聞くけど、ツキホさ、夜寝るときに、布団に入ってさ、

ツキホ うちベッドだよ？

ミヨ それは今、どうでもいいんだよ。じゃあ、ベッドに入っ
てね。あ、眠くなってきたな、って時に、
誰かに催眠術かけられた！、って思う？

ツキホ 思う。

ミヨ 思うのかよ。思わないでしょ普通。

イツエ ねえねえ。じゃあ、私、かけていい？

ミヨ え？

イツエ 催眠術、かけていい？

ツキホ できるの？

イツエ やったことないから、できるかわかんないけど。

ミヨ だったらできないよ。

ツキホ やってみよう！

ミヨ あのね。

イツエ あなたはだんだん眠くなるー。

ミヨ もう眠いから。

ツキホ かかった！

ミヨ 違う違う。イツエがやる前から、眠かったから。

ツキホ 催眠術じゃないなら、なんで眠いわけ？

ミヨ 夜遅いからだよ。

イツエ 信じられない。これから大事な会議なのに。

ミヨ だったら、催眠術かけようとするんじゃないよ。てか、フジコ寝てるし。

フジコ 寝てないよ。

ミヨ 寝てたでしょ。

フジコ 寝てないって。今、何時？

ミヨ 完全に寝てたヤツのセリフじゃんか。

ツキホ 3時。

フジコ おやつ食べなきゃ。

ミヨ 夜の3時だよ。いつから寝てたんだよ。

フジコ 寝てないってば。

ツキホ 自分だって眠かったくせに。

ミヨ 眠かったけど、フジコみたいに寝てたわけじゃないから。

フジコ なんか甘い物ない？おはぎとか。

ミヨ おやつ食べるのかよ。

フジコ おやつじゃないよ。おめざ。

ミヨ やっぱり寝てたんじゃん。

イツエ さ、会議やるよ。

フジコ えー？おはぎは？

イツエ ないよそんなもん。

ツキホ じゃあコンビニ行く？

イツエ だめだよ。

ツキホ なんで？

イツエ だってツキホ、コンビニ行ったら、おはぎ、盗んでくるでしょ。

ツキホ そうだね。

イツエ だめだよ。

ツキホ なんでよ。

イツエ そういうあれが、あれだから会議であれするんですよ。

ツキホ ふーん。

イツエ だから！

ミヨ 何を興奮してるんだよ。

イツエ だって、全然わかってないみたいだから。

ミヨ あの説明でわかったら超能力者だよ。

ツキホ 私、わかってるよ。

イツエ 絶対わかってないよ。

ツキホ つまり、プリンを盗んできてほしいんだよね。

イツエ 全然、違う。

ミヨ そうやってさ、簡単に盗むのやめよう、って話をするんだよ。

ツキホ え？

ミヨ 計画性を持って、ちゃんとした盗みを働こうって。

ツキホ 泥棒って犯罪だよ？

ミヨ 知ってるけど。

ツキホ だったらさあ。

イツエ ちょっと待って。

ミヨ ん？

イツエ まだ、会議を始めないで。

ミヨ なに？

イツエ フジコがまた寝てるから。

フジコ 寝てないよ。

ミヨ 寝てたね。

フジコ 寝てないってば。

ミヨ じゃあ今、何の話をした？

フジコ それはちよつとわからないけど。

ミヨ 寝てたね。

フジコ はいはい、寝てました寝てました。ごめんなさいね。グッナイ！

フジコは寝る。

イツエ ちよつと。

ミヨ もういいよフジコは、始めよう、会議。

イツエ でもさ。

ツキホ いいじゃん、フジコはどうせ起きててもろくなこと言わないんだから。

イツエ それもそうか。

ツキホ で、プリンがどうしたんだっけ？

ミヨ プリンの話はしてない。

イツエ ちゃんとしよう、って話。

ツキホ ちゃんとするってさあ、やることはどうせ泥棒なんだからさ。

イツエ そうだけど、今みたいにあれしてたら、いずれあれでしょ？

ツキホ たしかにそうだねえ。

イツエ だから！

ミヨ あのね、近所のコンビニで盗んだりしたら、そのうち捕まると思うんだよ。

イツエ そしたら、このアジトだってあれしちゃうからね。

ミヨ ツキホが逮捕されてそれでおしまいじゃないんだよ。

ツキホ たしかにそうだねえ。

イツエ だから！

ミヨ 今のはちゃんとわかってたよ。

ツキホ そうだよ。

イツエ ごめんごめん。

ミヨ だからこれからは、ちゃんと計画的にさ、宝石とか盗んで、それを売って暮らそう、コンビニとかではちゃんと買おう、って話。

ツキホ そんな大泥棒みたいなこと私たちにできるかなあ。

イツエ できるよ。

ツキホ でも、それ、なんかめんどくさそうだなあ。

ミヨ 泥棒をめんどくさがっちゃったら終わりだよ？

ツキホ どういうこと？

ミヨ 泥棒なんてのはさ、真面目に働けない人がやるわけだよ、その泥棒をめんどくさがったら、もう何もできないじゃん。人生終わりだよ。

ツキホ 泥棒の時点で終わってると思うけど。

ミヨ 終わってない。

ツキホ ま、いいけどさ。私は計画立てるのとか苦手だから、それは2人で考えてよ。

ミヨ そのつもりだよ。

ツキホ それだったら全然いいよ。会議ってそれだけ？

イツエ そうだよ。

ツキホ オツケー。わかった。じゃ、私、ちょっと出かけるね。

イツエ コンビニ行くんじゃないだろうね。

ツキホ このタイミングで、コンビニ行っておはぎ盗んでくるほどバカじゃないよ。

イツエ ならいいけど。

ミヨ じゃあついでに朝ご飯も買ってきてくれない？

ツキホ コンビニ行くんじゃないんだよ。

ミヨ どこ行くの？夜中だよ。

ツキホ 新聞配達。

ミヨ は？

ツキホ バイト。始めることにしたの。

イツエ え？私達、泥棒だよ？

ミヨ 泥棒やめるの？

ツキホ やめないよ。わかんないけど。なんかちよつと働いてみようと思っさ。

イツエ ねえ、私達、泥棒だよ？

ツキホ それがなに？

イツエ おかしいでしょ。バイトしながら泥棒やってる人なんかいないよ？

ツキホ そっか。

イツエ …いや、いるね。

ミヨ いるね。

イツエ いるわ、たぶん。うん、おかしくなかった。

ツキホ よかった。

ミヨ でも、よく採用されたね。履歴書とかどうしたの？

ツキホ 普通に書いたけど。

イツエ 住所は？

ツキホ この書いたけど？

イツエ ねえ、あなたバカなの？

ツキホ なんで？

イツエ アジトの住所を人に教えちゃだめでしょ。

ツキホ 大丈夫だよ。

イツエ 大丈夫じゃないよ。アジトだよ？

ツキホ てか、イツエ、ずっとこのことアジトって言ってるけど、これだけずっといる場所はアジトではなく家だよ？

イツエ ここはアジトです。

ツキホ アジトじゃないよ家だよ、どう考えても。

イツエ うるさいな、アジトって言いたいんだよ。

ミヨ 言いたいただけかよ。

イツエ そ、言いたいただけ。

ツキホ どうでもいいけどさ。じゃ、行ってきまーす。

ツキホは去る。ミヨは去ったほうをなんとなく見ている。

イツエ どうしたの？

ミヨ なんかさー。

イツエ なんかなに？

ミヨ 寝るわ。

暗転。

昼だけど、部屋の明かりはついてなくて薄暗い。

さきほどと同じ部屋、テーブルの上には紙片。

ホッタとナカヤマがいる。2人は土足であがっている。

発田 何もないな。

中山 そうね。

発田 こんなに盗む物が無い家ある？

中山 まあ、あるんじゃない？

発田 こんなにだよ！？

中山 あるよ、ある。俺の家だって、たぶん盗む物ないもん。

発田 いや、たぶんあるよお前の家には、盗む物、ある。

中山 無いって。現金も置いてないし。宝石とかもないし。

発田 パソコン持ってる？

中山 持ってるけど。

発田 あるじゃん。パソコン盗むよ、俺。

中山 うちのパソコン、でかいやつだよ？ノートパソコンじゃなくて。

発田 じゃあ無理だな。

中山 でしょ。

発田 でもさ、こんなに盗む物が無い家ある？

中山 だから、あるよ。うちもなかっただろ盗む物。

発田 いや、俺は初めてだな、こんな家。…燃やそうか？

中山 なんでだよ。意味もなく燃やすなよ。

シライが奥の部屋から戻ってくる。もちろん土足。

中山 あっちは、なんかありました？

白井 ないね。

発田 こんなに盗む物が無い家ある？

中山 それはもういいから。

白井 あ、でも、下着ならあったよ、ブラジャーとか。

中山 それ盗んでも金にならないからなあ。

発田 盗みましょう。

中山 なんだお前、そっちの趣味もあるのか？

発田 そういう趣味はないけど。

中山 じゃあ、下着なんか盗んでどうするんだよ。

発田 シライさんが使えばいいじゃない。

白井 嫌だよ気持ち悪い。私は使わないよ、人の下着なんか。

発田 なんでもいいから盗みたいんだよ。

中山 無駄に罪を重ねるなよ。

発田 ね、お願いします！盗みましょう？下着。

白井 私、女だよ？女が女の下着盗むってさあ、

発田 …。

白井 しょうがないなあ。

中山 なんで？なんでそうなった？シライさん、おかしいよ。

白井 頼まれると弱いんだよ。

中山 でも、絶対いらないでしょ。

白井 いらないね。

発田 いらなくてもいいじゃないですか。あれだったら、盗んでおいて、家に帰って捨ててもいいし。

中山 それをやる意味がわかんねえよ。チベット仏教の僧侶たちが何日もかけて作って出来上がったらすぐ崩して川に流しちゃう砂の曼荼羅か。

発田 え？

白井 例えが長すぎて、何を言いたいのかわからないよ。

中山 諸行無常が過ぎるってことですよ。

発田　じゃあ捨てなきゃいいんだね。

中山　それとこれとは別だよ。下着泥棒はしたくないんだよ。

発田　なんで？

中山　ちゃんと説明しようか？あのね、この先、万が一、俺たちが警察に逮捕されたらだよ、裁判を受けて、刑務所に入るわけだよ。でさ、刑期を終えて出所するでしょ。でもさ、なかなか社会復帰できないよ？泥棒だったんだから。雇ってくれる会社を探すのが大変なわけ。「あいつが会社に入ったら、絶対にそのうち会社の金を盗むに決まってる。」とか、言われるわけ。で、それでもなんとか入社したとしてもよ、友達もできないよ。陰で言われるんだから「あいつ泥棒らしいよ。」って。泥棒だけでもこれだよ？これに下着も盗んでたってなると、泥棒、に、変態がプラスされちゃうわけ。わかる？泥棒、に、変態、がプラスされちゃうの。そうするとどうなるかという「あの人、下着泥棒なんだって、やだー、気持ち悪い。」って女子社員には完全無視を決め込まれるの。で、飲み会に行ったらさ、今度は酔っ払った男の社員から「盗んだ下着ってやっぱり舐めたりするの？」とか、いじられるんだよ。これ、なんて答えたらいいの？「はい、舐めます！」って言ってもひかれるし、「何もしないですよ。」って言うても、嘘つけ、って思われるんだよ？正解がないんだよ。この質問。いやがらせなんだよ完全に。つまりね、泥棒プラス変態イコール、2倍になるの、嫌われ度が。話が長い？長いよね。わかってる。でもこれだけは覚えておいて、もし、下着を盗んだら、泥棒、に、変態、がプラスされちゃうの。だから、俺

は下着は盗みたくない！

ナカヤマが喋っている間に、シライはテーブルの上の紙を手取る。

中山 ……終わりです！

白井 あ、終わった？

中山 はい、どうせ途中から聞いてなかったと思いますけど。

白井 聞いてたよ。ね。

発田 つまり、ナカヤマは下着泥棒で捕まった後に就職したことがあるんだよね。

中山 ないよ、全部、想像だよ。

白井 想像だったんだ。熱量が凄いから、現実かと思ったよね。

発田 でもさ、下着を盗まなかったら、何を盗んだらいいんだよ。

中山 何も盗まなかったっていいだろう。

発田 何でもいいから盗みたいんだよ。

白井 もしかしてホツタ、この家に予告状出した？

発田 え？

白井 予告状出したから、この家にこだわってるの？

発田 いやいや、そんなの出すわけじゃないじゃないですか。漫画じゃないんだから。

中山 失敗する可能性が上がるだけだからな。

白井 でも、ここにあつたから、予告状。

発田 え？

白井 ほら。

発田 本当だ。でも、俺は出してないですよ。

白井 じゃあナカヤマが出したの？

中山 出してないですよ。

白井 となると、予告状を出したのは、私か…。

中山 出したんですか？

白井 出した覚えはないけど。

中山 だったら出してないですよ。

白井 じゃあ誰が出したのよ。

中山 なんて書いてあるの？

発田 予告状、今夜、宝石全部、頂きにあげられます。怪盗ミツイフ。

白井 犯人はロシア人ね。

中山 名前がフで終わっても、ロシア人とは限らないと思いますよ。本名じゃないと思うし、ミツイフ。

発田 もう別の泥棒に全部盗まれちゃったあとなのか。

中山 それはないんじゃない？荒らされた形跡もないしさ。

発田 おかしいと思ったんだよ。だってさ、こんなに盗む物が無い家ある？

中山 それ何回も言うけどさ、あるんだよ。

発田 でも、ほら見て、ここ！足跡あるじゃん。

中山 これは、俺たちのだよ。

白井 この家さ、泥棒の家なんじゃない？

中山 はい？

白井 や、怪盗ミツイフの家なんじゃない？

中山 あ、ありえますね。そういえば、この町、泥棒たくさん住んでるって噂があるんですよ。

白井 そうそう、その噂、私も聞いたことあってさ。

発田 なるほど、だからか。

中山 なにが？

発田 ここに住んでるのが泥棒だからさ、逆に盗まれるようなものを置いてないんだな。って。だってさ、

こんなに

中山 盗む物が無い家はあるんだよ、あるんだけど、確かにそうかもね。

白井 ねえ。てことはさ、来週あたりにきたら、ここ、宝石たくさんあるんじゃない？

中山 そうですね。

白井 だよね。

発田 でも、この人たち、予告状なんか出したら、盗むの失敗するんじゃないかなあ。

中山 それもそうだな。

白井 ま、いいじゃん。もしかしたらたくさん宝石があるかもしれない、ってだけで、来週また来る価値はあるよ。

シライ、ホッタ、ナカヤマは去る。

タ方。タイガーとドラゴンが椅子に座っている。スーツ。土足。

龍 なあ、タイガー。

虎 なんだい？ドラゴン。

ドラゴンは少し笑った。

虎 どうしたんだよ。

龍 いや、かっこいいな、と思って。

虎 なにが？

龍 名前。タイガーとドラゴンだよ？

虎 …。

龍 え？かっこよくない？

虎 …かっこいい。

龍 だよな！。

虎 我ながらいいコードネームつけたよな、と思うよね。

龍 強そうだな。

2人とも嬉しそうだ。

龍 なあ、タイガー！。

虎 なんだい？ドラゴン。

龍 呼んただけ。かっこいいから。

虎 呼んただけかよ。かっこいいからって呼んただけかよ。

2人、少し笑う。

虎 なあ、ドラゴン。

龍 なんだい？タイガー。

虎 …俺たちここにいて大丈夫なのかな？

龍 なんだよ、呼んただけじゃないのかよ。

虎 呼んただけじゃないよ。かっこいいからって呼んただけじゃないよ。

龍 でも、かっこいいからさ。

虎 そうだけどさ。

2人、さつきよりはたくさん笑う。

龍 で、なんだっけ？

虎 ここにいて大丈夫かな？住んでる人、帰ってくるかもしれないだろ。

龍　：タイガー。土星には、どんな風が吹いてると思う？

虎　なんだい突然。

龍　いいから。

虎　土星の風か。乾いた風、かな。

龍　乾いているかはわからないが、

虎　ああ。

龍　大気に含まれる成分が違うから、地球の風とはまったく違うサウンドを奏でるそうさ。

虎　そうか。

ドラゴンは満足そうさ。

虎　で？

龍　それだけだ。

虎　：質問に答えずに意味ありげな話をする。：かっこいいな。

龍　タイガー。

虎　なんだい、ドラゴン。

龍　ありがとう。

虎 どういたしまして。

龍 あいつが、ここで待ってろ、って言ってたんだから、大丈夫だろう。

虎 そうだな。

玄関が開く音がする。それに反応して、立ち上がる。

フジコが来る。2人は、なんだお前かよ、って感じで座る。

フジコ お・ま・た・せ。

龍 むかつくわー。

フジコ なんですよ。

龍 リーダーなのに、不思議とむかつくわー。

フジコ ドラゴン。だから、なんですよ。

龍 それはわからないさ。

フジコ ねえ、タイガー。どう思う？

虎 レオパルド。

フジコ なによ？

虎 レオパルド。悪いが、俺も、むかついている。

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

ドロボー・シティ（おためしサンプル）

2016年7月16日 初版発行

著 者 関村俊介 © 2016年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-24-9529
